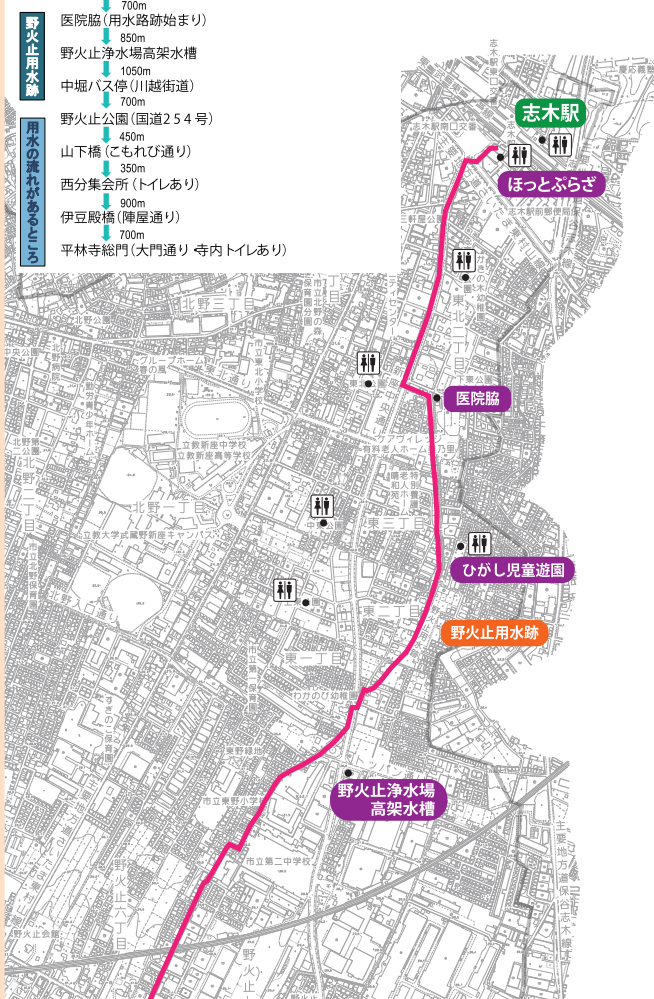


～志木駅から平林寺へ、用水跡の散策路～

用水跡（現在、遊歩道・歩道・遊道など幅広くなっているところ）

ほっとぶらざ（志木駅前・トイレあり）

- 野火止用水跡
- 野火止浄水場高架水槽
- 中堀バス停（川越街道）
- 野火止公園（国道254号）
- 山下橋（こもれび通り）
- 西分集会所（トイレあり）
- 伊豆殿橋（陣屋通り）
- 平林寺総門（大門通り 寺内トイレあり）



平林寺



寛文3年に岩槻から移されました。寺域は約13万坪で、山門や仏殿などの建造物群は県指定の文化財です。境内林は国の天然記念物に指定され保護されています。

関東の名刹、平林寺は臨済宗妙心寺派の禅寺。

野火止緑道



広大な平林寺の森と野火止用水が一体となつている緑道。自然観察や野鳥観察が出来るところで、用水も昔のままの状態が多々あります。

桜並木の本多緑道



春になると桜花が色をそえてくれる本多緑道。野火止用水も、昔ながらの版築の工法で築かれているのが分かります。

都内を流れる野火止用水



野火止用水は小平市から東村山市、清瀬市をへて新座市に至ります。この間の用水は、東京都の歴史環境保全地域に指定されています。

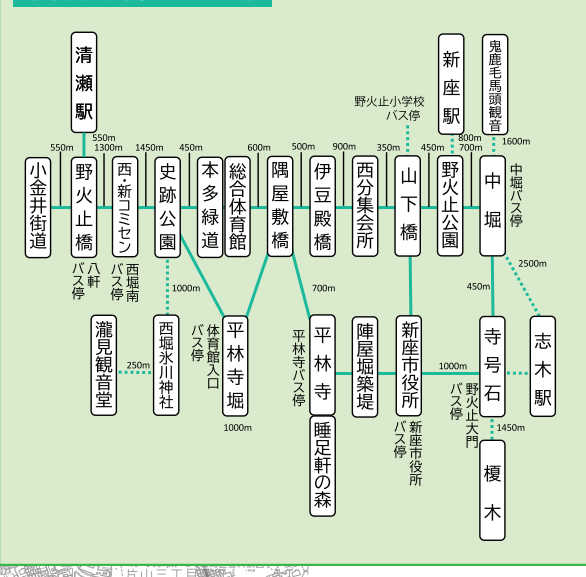


整備された野火止用水



野火止用水本流の幅員は、だいたい水路敷が二間、3.6m、左右の土揚敷は各一間（1.8m）です。

《野火止用水をみる》



西堀の用水分岐点

野火止用水が分岐する場所。右側は支流の平林寺堀、左側は野火止用水の本流。平林寺堀の右歩道下はかつての支流、陣屋堀の跡です。

陣屋堀に残る築堤



高崎藩の陣屋（屋敷）に引水するために築かれた陣屋堀の築堤。断面から堤の築き方が分かります。

平林寺堀の築堤



松平家の菩提寺である平林寺にそそぐ支流、平林寺堀。この付近は土地が低いため堤を築いて水を引いています。

- 《凡例》
- バス停
 - 公共施設
 - 文化財